

平成28年10月12日

市民のみなさまへ

河内長野市長

事業者の土砂搬入に係る1級河川石川の濁りの件について

日頃より河内長野市の行政の推進にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、このことにつきましては、去る10月3日に現状をご報告申し上げましたが、その後の経過につきましてご報告申し上げます。

まず、大阪府の指導による応急工事として、10月4日に、事業者に対し、河川内に崩落した土砂をブルーシートで覆わせましたので、土砂流入当初と比較いたしますと、河川の濁りは一定の改善が見られたところでございます。現在、是正工事として、崩落土砂を重機を用いて1トン土嚢に封入させ、安全な場所への移設を行っております。この工事により、一時期、再び河川水が白濁することもあるかとは思いますが、河川環境と致しましては一步一步、原状に近づいている状況でございますので、どうかご安心ください。

また、河内長野市と致しましては、下流では飲料水としても利用されている石川の水質の現状を把握し、少しでも早く、市民の皆さまに安心していただくため10月4日に水質検査を、大阪府におきましても10月6日に、水質検査を実施したところでございます。

私と致しましても、この件につきましては、最優先課題の一つと考えており、市府連携のもと、少しでも早い原状回復を目指していくために、崩落土砂の早急な撤去を指示されますよう、10月5日付けで大阪府知事宛、砂防指定地内行為の指導について要請を行っております。

今後とも、新たな状況になりましたら追ってご報告させていただきますので、引き続きご理解のほどお願い申し上げます。

※10月4日及び10月6日の水質検査結果につきましては、市ホームページに掲載しておりますので、あわせてご覧ください。